

## ◆行政報告

- ・「下川町生きる力を育む  
・支える自殺対策計画」  
の策定
- ・「下川町強靱化計画」の  
策定
- ・北海道日本ハムファイタ  
ーズ「北海道179市町  
村応援大使」の決定
- ・一般財団法人下川町ふる  
さと開発振興公社令和2  
年度中間決算報告

## ◆「下川町における新型コロナ ウイルス感染症による 差別や誹謗中傷を撲滅する」 決議を採択しました

新型コロナウイルス感染症の国内新規感染者数は高止まりが続く、終息する見込みがない中において、上川管内では重篤感染者が医療措置を受ける予定であった基幹病院で大規模なクラスター感染が発生しました。上川北部の市町村において、クラスター感染の発生は報道されていませんが、上川北部市町村の住民が十分な対策を施していても気がつかないうちに感染してしまうことがあると思われる。

このような状況において、私たちは感染拡大の防止に最大限の注意を払うとともに、正しい情報と知識をもつて、一人一人が冷静に行動しなければなりません。自身を守る行動であると同時に大切な家族、友人並びに地域住民の健康を守ることにつながります。

新聞等によれば、全国的に感染者やその家族に対する非難や差別をするような行動をする者が現れており、大変危惧するところです。

また、感染する可能性がある」とされる不安の中で感染者の治療に専心されている医療機関職員をはじめ、介護・保育などの分野で働いている関係者に対しても偏見による不当な排除行動が見られております。

これらの行為行動は決して許されるものではありません。

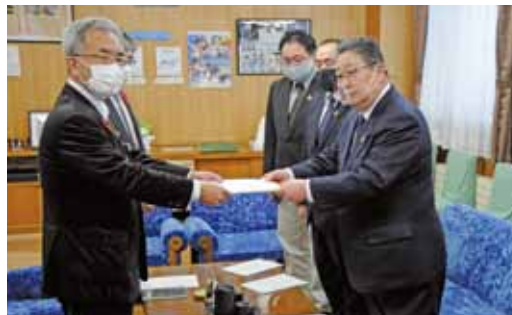
「差別や偏見がない町」を目指して、下川町議会は次のとおり決議するものです。

- 1 新型コロナウイルス感染症を特定しようとする

こと、及び感染者に対し非難や差別的な言動や排除する行為は、厳に慎むこと

- 2 感染の危険が高い分野に従事されている医療機関や福祉施設の関係者、並びに日常生活を支えている関係者の家族に敬意を払うこと

## ◆町長あてに要望書を提出 しました（12月25日）



役場2階応接室にて、要望書を手渡す近藤議長

その後も、依然として町内には厳しい生活を強いられる状況があると考えられることや、町や民間団体等が主催する行事の多くが中止若しくは延期となったものの、例外的な取り扱いはあり、判断基準が不明のため感染症拡大の心配から町民が不安を抱えているとの意見もあります。

そこで、次の事項を施策に生かされるよう議会の総意として要望書を提出しました。要望事項は次のとおりです。

- 1 集会、イベントなどのガイドラインの策定及び公表について
- 2 切れ目のない支援の実施について
- 3 地域経済を支えるすべての営み、生業の維持について
- 4 新型コロナウイルス感染症と冬期災害等複合災害への備えについて

## ことば

どう ろん 論・・・ 本会議や委員会で議題となっている案件について、表決をする前に、議員個人として賛成・反対の意見を表明することをいいます。

ふ たく 託・・・ 本会議で議題となっている案件について、質疑が終了した後さらに詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会や特別委員会などに審査を委託することをいいます。

